



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番  
95.8.17 No. 4243



【写真上】「フランシーヌの場合」を唄う新谷のり子さん。【写真下】沖縄出身の新里愛蔵さんは蛇皮線を弾いての熱唱でした。



そしてパネルディスカッションの中で出された、「どのよう  
な罪を犯したのか真相糾明なく  
して、誠実な謝罪とはならない」  
、「沖縄戦と戦後の米軍統治と  
いう、沖縄に対するふたつの責  
任」天皇制の告発なくして本当  
の反戦闘争とはならない」、「  
日本民衆のとるべき戦争責任と  
は、日本国家に戦争責任をとら  
せる。天皇に戦争責任をとらせ  
ることだ」との問題提起と会場  
からの質問等を通して、最大の  
テーマである、日本の戦争責任

を明らかにし、二度と侵略戦争  
を許さないことを、参加者全員  
が互いに誓いあった。  
**戦後50年目の今日を起点に！**  
戦争にかかわるものには絶対  
に譲ってはならない。戦後50  
年目の八・一五を起点に、新た  
な潮流運動をさらに広範に展開  
しなければならぬ。われわれ  
は、事実を明らかにしたり、認  
識したりするということから  
さらに一歩進まなければならぬ。



## 第1部

日本、天皇の戦争責任を否定  
した村山政権を打倒しよう！  
「戦後五〇年を問う八・一五  
労働者市民の集い」が、杉並公  
会堂に、一、二〇〇人を集めて行  
なわれた。  
集いは、第一部が、歌、コン  
ト、ロック演奏、続いて第二部  
では、講演、パネルディスカッ  
ション、被災支援連からの訴え  
が行なわれるなど、盛り沢山の  
内容であった。  
**日本は何をしてきたのか！**  
そして何をしてこなかったのか  
二本の講演では、「日本軍軍

# 8・15 新たな一歩を踏み出した 労働者市民の集い

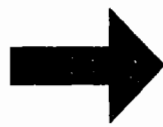
隊慰安婦と戦争責任」によって、「民間基金」とは、国家責任を  
認知せず国民責任にすり替え、  
お金の問題に転嫁するなど、「  
事業」であり何の責任もとれな  
いものだ。責任者処罰の明確化  
、侵略戦争を遂行した天皇の責  
任の明確化なくして、最終的な  
決着はつかない。戦後保障立法  
を護れない運動として続けて行  
く。  
次のテーマである「労働運動  
から戦後五〇年を問う」の中  
では、労働運動は階級的戦闘的  
でなければならぬ。とりわけ階  
級的という意味が問われている  
と訴えた。



【写真右】「日本軍軍隊慰安婦と戦争責任」の講演を行った西野留美子さん。【写真左】「労働運動から戦後50年を問う」の講演を行った佐藤芳夫さん



【写真上】パネルディスカッションで壇上に並んだパネラーの皆さん。左より、桜井善三さん、吉見義明さん、知花昌一さん、森正孝さん、西野留美子さん、佐藤芳夫さん。【写真左】阪神被災地労働者への支援を訴える中島誠さん。



## 第2部